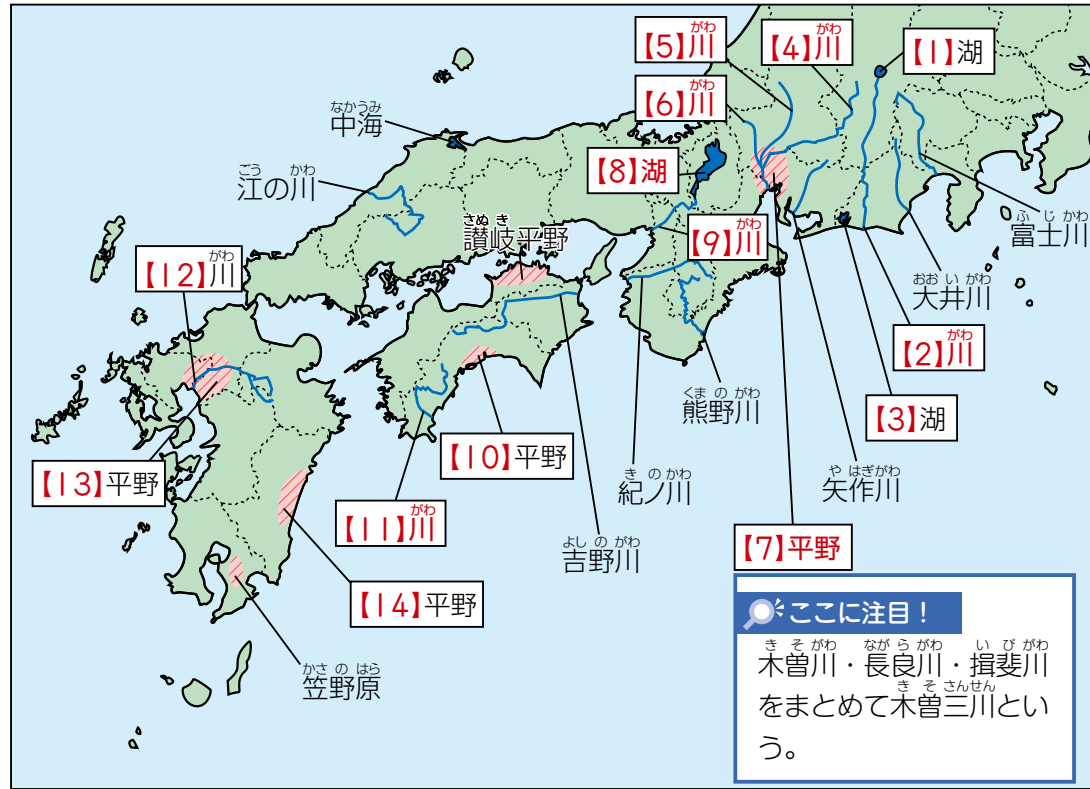


5 西日本の川と平野、湖

中部地方太平洋側と、近畿・中国・四国・九州地方の川と平野、湖などを見ていきましょう。西日本には、東日本ほど長い川はありません。



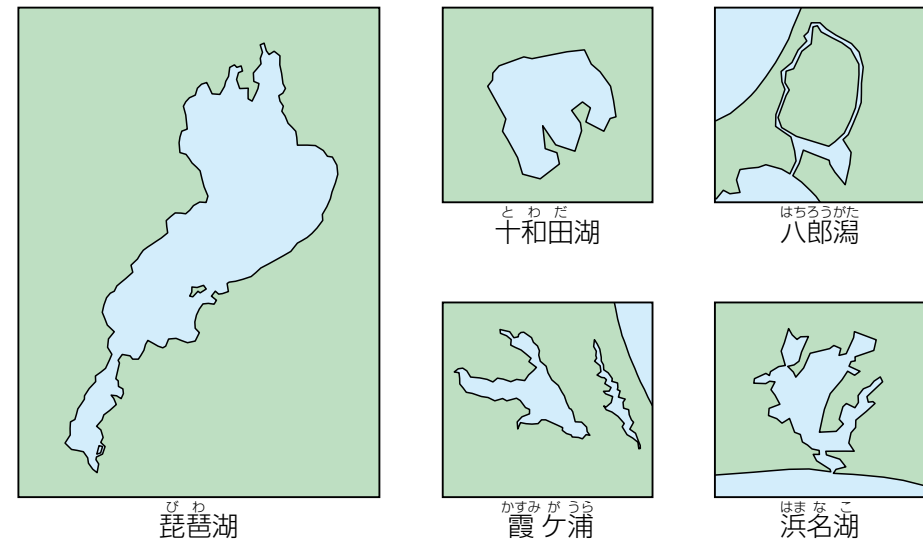
西日本の川と平野、湖

主な川	特徴
富士川	急流で有名。静岡県内では川の東西で電源の周波数がことなる。
[2]川	[1]湖から流れる。豊川用水（愛知県）の水源の1つ。
[4]川	上流は木曾ヒノキの産地。
[5]川	本流にダムがなく、清流や鵜飼で有名。
[9]川	[8]湖から流れる。上・中流では瀬田川・宇治川とも呼ばれる。
吉野川	高知県から徳島県を流れる。四国地方東部の水がめ。
[11]川	高知県西部を流れる。日本最後の清流ともいわれる。

西日本の主な平野・台地

平野・台地	特徴
[7]平野	木曾三川が流れ、輪中が見られる。
讃岐平野	降水量が少なく、大きな川がないことから、ため池が発達。
[10]平野	温暖な気候を生かした野菜の促成栽培で有名。
[14]平野	
笠野原	火山灰におおわれたシラス台地。畑作・畜産がさかん。

[8]湖は面積が日本一の湖です。主な湖のうち、特徴的な形のものを覚えておきましょう。なお、東日本であつかったものもふくまれています。



ポイント 地名と川の形を覚えよう！

- 木曾三川…木曾川・長良川・揖斐川
- 近畿地方の水がめ…琵琶湖と淀川

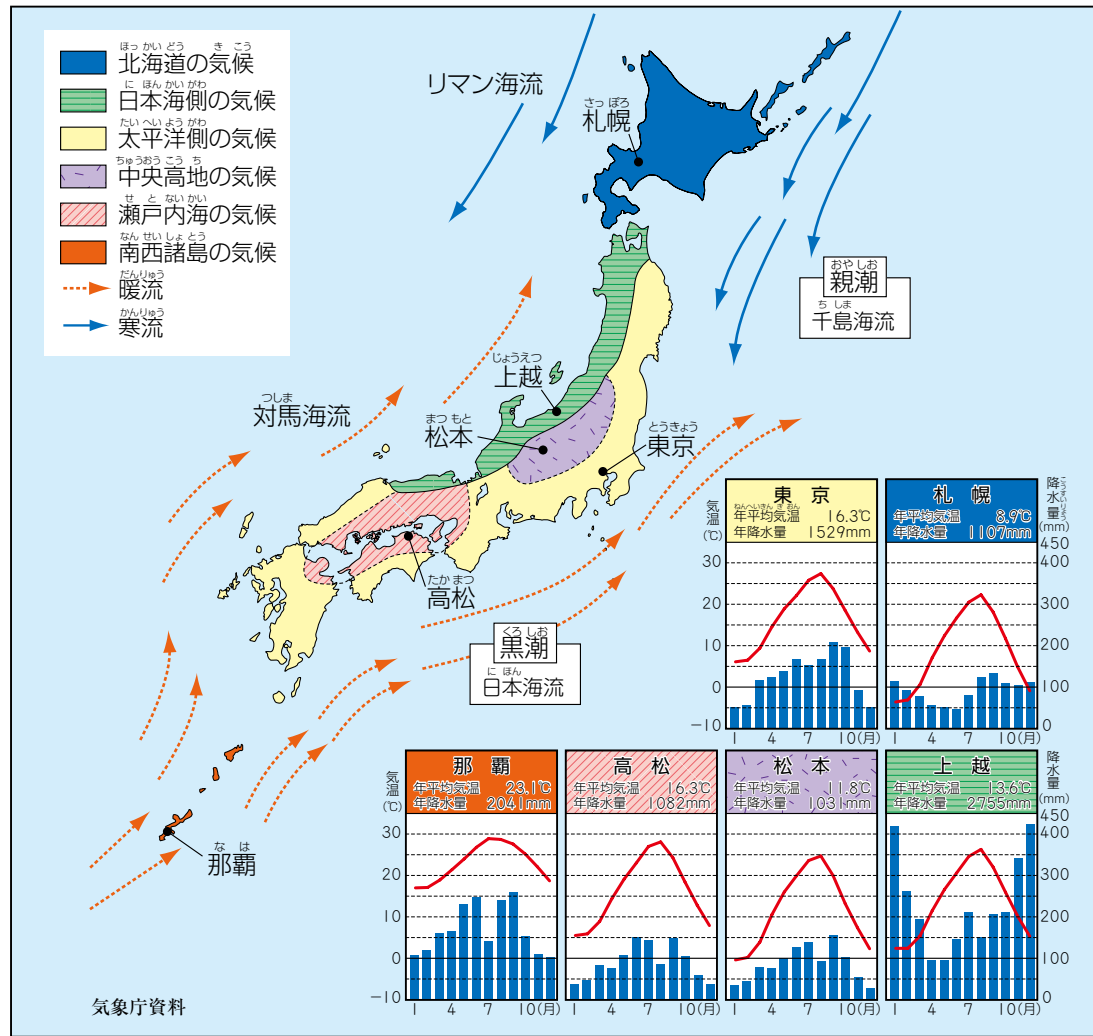
入試ではここが問われる！

- 地図中にえがかれた川の流路をもとに、その川の名前や、流れている地域（都道府県名や平野名）が問われます。
- 川の流路を選ぶ問題もあります。河口や、水源となる地域のおおまかな位置を覚えている必要があります。
- 湖の形から名前を問う問題や、湖の名前から形を問う問題もあります。

6 気候



気温の高低や変化、降水量の多い時期のちがいなどによって、日本の気候は大きく6つに分けることができます。それぞれの特徴を見ていきましょう。



日本の気候区分

関連 ➡ 12ページ 日本の山と山脈

日本列島の北に位置する【1】は、夏でもすずしく、冬はかなり寒冷です。また、梅雨や台風のえいきょうをあまり受けず、降水量は年間を通して少なめです。

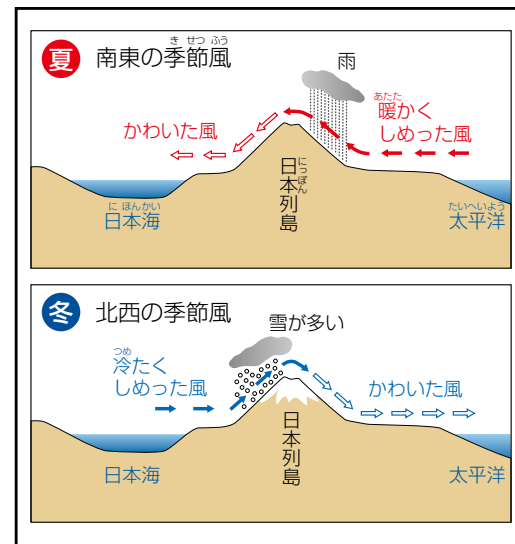
日本列島の南に連なる沖縄島などの【2】は、年間を通して比較的気温は高く、また、夏から秋にかけて、台風のえいきょうを強く受けることもあって、降水量が多い傾向が見られます。

【3】の夏はしめった南東の季節風のえいきょうを強く受けるため、たいへんむし暑く、降水量が多いのが特徴です。【4】の冬は北西の季節風のえいきょう

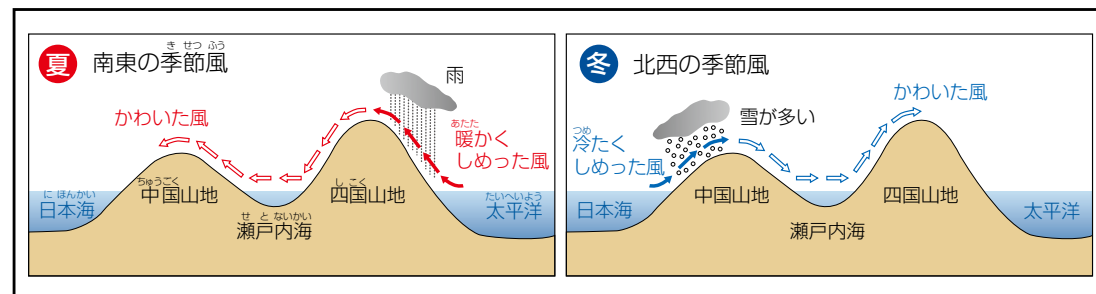
を強く受けるため、大量の雪が降り、降水量が多くなります。雨や雪をもたらすしめった風は、山地・山脈をこえるとかわいた風になるため、【3】の冬は晴れた日が多く、降水量は少なめです。また、【4】の夏は暑くて晴れた日が続きます。

山に囲まれた【5】は、季節風のえいきょうを受けにくく、年間を通して降水量は少なめです。夏と冬の気温の差が大きいという特徴があります。

【6】に面した地域は、南の四国山地と北の中国山地にはさまれているため、季節風のえいきょうを強く受けません。雨や雪はあまり降らず、晴れた日が続く、年間を通して温暖な気候です。



夏の季節風と冬の季節風



中国・四国地方の山地と季節風の関係

ポイント 気候区分ごとの特徴を知っておこう！

- 北海道の気候…年間を通して気温は低く、降水量は少ない。
- 南西諸島の気候…年間を通して気温は高く、降水量は多い。
- 太平洋側の気候…夏は降水量が多く、むし暑い。冬の降水量は少ない。
- 日本海側の気候…夏は暑く、晴れた日が多い。冬の降水量は多い。
- 中央高地の気候…年間を通して降水量が少なく、夏と冬の気温差が大。
- 瀬戸内海の気候…年間を通して晴れた日が多く、降水量は少なく温暖。

入試ではここが問われる！

- 日本地図に示された都市に対応する雨温図を選ぶ問題が出されます。